



人、自然、科学を結ぶ 学研都市精華町
「はなそう」

せいか

華創

HANASOU

川西小児童新校舎レポート … 2
乳がん検診で早期発見 …… 4
新型インフルエンザ対策 …… 6
近畿Vで全国大会へ …… 10
各地域で地デジ説明会 …… 12
活動のひろば① …… 18
精華町職員を募集 …… 23



とどけ、ぼくのおねがいごと

七夕の7月7日(火)、町内の全保育所では、子どもたちが短冊の飾りつけをしました。「かぜをひかずにげんきにあそべますように」「おともだちとなかよくできますように」など、思い思いの願い事が書かれた短冊。年一度の彦星と織姫との再会を祈りながら、色とりどりの希望が天に届けられました。

2009

8

seika town times
No.557

活動のひろば

11

このコーナーでは、町内で活躍する団体・個人にお話を伺い、その活動などを紹介しています。今回は、精華町体育協会・ソフトバレーボール連盟会長でTeam TOPS代表の酒井浩明さん（桜が丘三丁目・52歳）にお話を伺いました。

「誰でもできる気軽さ」に魅せられて

酒井 浩明さん

活動のきっかけ

すらりと背が高く、とても若々しく見える酒井さん。52歳と聞いてびっくりしました。高校、大学とバレーボールクラブに所属し、スパイカーとして、練習に明け暮れていました。学校を卒業して就職。しばらくは、母校に時々出か



大会が終わって仲間とともに(府民総体優勝)

け、後輩の指導などをされていますが、会社を退職され、起業するうちに忙しくなりバレーボールからも遠ざかってしまいました。何か体を動かすことをしたいな、しなければと思っていたときに、近場の保育所のお母さんたちが集まってソフトバレーボールを練習していました。奥様に誘われ、一緒に練習するようになったのがきっかけだそうです。10年ほど前から保育所、幼稚園の保護者間でソフトバレーボールを通じての交流が盛んでした。ソフトバレーボールは、バドミントンのコート、専用ネットを用い、4人メンバールが集まればプレーできます。ボールはバレーボールのそれよりも大きくてゴム製のため柔らかく安全です。まさに生涯スポーツとしてはうってつけで、誰でもできる気軽さに、酒井さんは魅せられました。

活動を通じて

レクリエーションを起点としたソフトバレーボールでしたが、競技性を求めて8年前には、仲間たちとチームを結成しました。「会社経営というハイプレッシャーと毎日向き合うなかで、週末は、仲間たちとただ無心にボールを追いかける」。酒井さんにとってはストレスを発散させる、大切な場所です。週明けには、リフレッシュされた新たな気持ちで仕事に取り組めます。

活動での工夫

「レクリエーション」として、あるいは「競技」として2つの側面を持つソフトバレーボール。酒井さんには、いろいろ工夫を凝らし精華町ソフトバレーボール連盟の牽引者としてリーダーシップを発揮していただいています。自身は競技性を求めるチームに属し、試合・大会に向けて練習をしますが、年に数回しかない大会では、最初はなかなか勝ち進んでいくことができませんでした。ならば、自分たちで大会を開催し、試合という「実戦」のなかで学んでいこうと、さまざまな交流戦、定期戦を企画しました。「実戦」を重ねるうちに、府民総体や京都府ソフトバレーボール連盟主催の大会で優勝するなど、輝かしい成績を残すことができました。

一方で、競技人口の増加を計らねばなりません。競技性を前面に押し出し、「勝つこと」ばかりに



とても若々しく快活なイメージの酒井さん

執着すると、人は集まりません。精華町ソフトバレーボール連盟では、「普及」を第一義に考えて活動をしています。町外から講師を招いて審判講習会も開いています。交流戦のレベルを調整し、時には「試合」に参加してもらいます。少しレベルの高いチームと対外試合を経験してもらうこともあります。

これから

「そもそもニュースポーツとして誕生したソフトバレーボールですので、誰もが気軽に取り組むことができます。従来のバレーボールが人数やコートの確保が難しくなってきたのに対してソフトバレーボールは、バドミントンコートの広さと、1チームそれぞれ4人集まれば、バレーボールの経験の有無にかかわらずプレーができ、得点する楽しみを味わうことができます。また男女別の試合より、むしろ混成チームでの大会

が全大会の8割以上を占めるというのも大きな特徴で他に類をみません。

練習を重ね、「大会」にも出るようになると「勝ちたい」という意欲も生まれてきます。俄然、練習にも張りがでてきますし、体調も試合に向け、気をつけるようになり、目標を持って継続して練習することが、結果的に健康につながっているようです。

気軽にソフトバレーボールを始めていただき、その活動を通じて健康増進と交流の輪をどんどん広げてもらえればと思っています。「精華町がソフトバレーボールのメッカと呼ばれるように普及・発展ががんばります」と最後にありがたくも、頼もしいメッセージをいただきました。

〔ソフトバレーボールに関するお問い合わせは、酒井浩明さん(T E L 090-5048-8114)まで〕